



今月の題字
木戸美月ちゃん

(大間々町大間々)

毎朝、道の向こうから「やっちゃ〜ん」と笑顔で両手を振り、マイトリイ幼稚園に通っていた美月ちゃん。4月からは大間々北小学校のピカピカの1年生です。

虹の架橋↑検索で、インターネットからでもご覧いただけます。

四月八日は長澤薬師春恋祭り
人生の芽も出る『め』の字奉納

大間々の春の風物詩・長澤薬師春恋祭りが今年も四月八日十時から始まります。長澤薬師は、四百年前に大間々町の基礎を築いた「草分け六人衆」の一人・長澤伊之丞の敷地内に建立されました。古来、「め」の字を大小九つ書いて薬師様に奉納すると眼病治療や予防に効くと言われてきました。お気軽にご参加ください。人生の「め」も出るかもしれませんよ。



去年の春恋祭「め」の字奉納

八日十時から西條書道教室の先生方にご指導いただき、めの子を半紙に書き、光栄寺さんに祈願していただき、一人一人のお名前を読み上げて薬師様に奉納いたします。十一時半からはITOHブラザーズによる合唱と演奏。一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。



当日「め」の字奉納をされた方には「三方よし」のどら焼きを先着百名様にプレゼント。地元の銘酒・赤城山のおいしい甘酒も無料サービスいたします。

「三方よし」の会では、「温故知新」を合言葉に、地域の歴史や文化に触れるイベントを開催し、故郷に愛着と誇りが持てるまちづくりを続けています。只今、賛助会員募集中。(年会費は二千円)お申込み・お問合せは足利屋へ。



小耳にはさんだ
いい話
(文責・菊)
《272》

『綿毛にのって』

先日、『綿毛にのって』の第一集は、福島県双葉町出身で中学の教頭先生だった三本杉祐輝先生が悪性リンパ腫と向き合いながら綴った詩と福島市在住の矢口洋子さんの写真と大阪府枚方市在住の東晴美さんの筆文字をコラボした写真詩集でした。この写真詩集は、三本杉祐輝先生の詩に感動した兵庫県たつの市の木南一志さんが多くの人にこの詩

『綿毛にのって』の第一集は、東日本大震災の被災地を応援したいという思いから作られました。第一集の収益金は百万円を超え、福島県内の五カ所の施設や団体に寄付されました。そして、第二集の日めくりカレンダーも昨年の三月に発刊して完売。第三集も多くの注文が入っています。三本杉先生は福島第一原発事故で何度も避難を繰り返しながら癌と闘ってきまされたが平成二十六年十一月二十九日に逝去されました。三本杉先生の詩を読んでいると、一瞬

一瞬をもっと大切に生きなればと反省させられます。
今、奇跡の連続
今日は今の連続
人生は今日の連続
だから、大切なことを
今やらないうちやらの？
最期まで自分の人生諦めず
どんなになっても思いやりを
忘れずにいたい
だって得たものは残らないけど
与えたものは皆の心に残るもの

『綿毛にのって』第三集は千円(税・送料込)。利益は諸経費を除き、被災地、がん医療、福祉団体等にすべて寄付いたします。申込書は足利屋にも用意してあります。多くの方々の協力をお待ちいたしております。

雑草という草はなし仏の座
生物学者として二百種類以上の新種を発見したといわれる昭和天皇は「雑草という草はない」とおっしゃったそうです。小さな草や生き物にも無限の愛を注がれた陛下のお人柄がしのばれます。今年も庭に仏の座(サンガイグサ)が花を咲かせはじめました。仏の座は花の下にある葉が茎を包み込み、仏の蓮華座のように見え、葉が段々になつていくところからサンガイグサ(三階草)とも呼ばれるようになったそうです。花言葉は「調和」。人も草花もみんな一緒に今を生きています。

第二七二号は五月一日(火)発行予定です。

世界一小さな
定利屋

トイレ美術館

今月の写真《272》

関口立美さん『わてつと花桃』



わたらせ渓谷鐵道市民協議会の会員で鉄道写真家の関口立美さんは「わてつ」が国鉄足尾線の時代から沿線の写真を撮り続けています。関口さんの写真を観ていると、普段見慣れている風景の素晴らしさに改めて気づかされます。今年も四月七日・八日は神戸(ごうど)駅花桃まつりが開催され、十四日・十五日には小夜戸(さやど)大畑花桃まつりが開催されます。花桃は地域の人たちが一万本を目標に丹精込めて地道に植樹を続けています。花桃の美しさは地域の人たちの心の美しさでもあります。

靖ちゃん日記

三月九日(金)
五時起床。九度・予報通りの雨。六時四十分、掃除道具を積んで大間々駅へ。一〇七八回目のトイレ掃除に上毛新聞の取材が入った。第四十一回上毛社会賞に郷土を美しくする会が選ばれた。二十年以上、毎週欠かさず「町の玄関」である大間々駅の掃除を続け、市内の小学校で十年以上、掃除を通じて心磨きを指導し、県内各地にトイレ掃除を広まらるまき。かけこみつくったことか評価された。三月二十八日に上毛ホールで、上毛社会賞、芸術文化賞、文学賞、スポーツ賞など上毛四賞の贈呈式が開かれ懇親会もある。いろいろ分野の人と会えるのが楽しめた。掃除をしなから取材を受けた。辛かったことは？と聞かれたが楽しいことばかりか思い出された。駅のトイレの前で十二人ほど二列に並んで写真に納まった。掃除をした後なので、その清々しい気分だった。雨が降っているのに、みんな天晴水(あっぱれ)存定額だった。

雑草という草はなし仏の座
生物学者として二百種類以上の新種を発見したといわれる昭和天皇は「雑草という草はない」とおっしゃったそうです。小さな草や生き物にも無限の愛を注がれた陛下のお人柄がしのばれます。今年も庭に仏の座(サンガイグサ)が花を咲かせはじめました。仏の座は花の下にある葉が茎を包み込み、仏の蓮華座のように見え、葉が段々になつていくところからサンガイグサ(三階草)とも呼ばれるようになったそうです。花言葉は「調和」。人も草花もみんな一緒に今を生きています。



♡ やつちゃんの似顔絵提供: ひさかさん